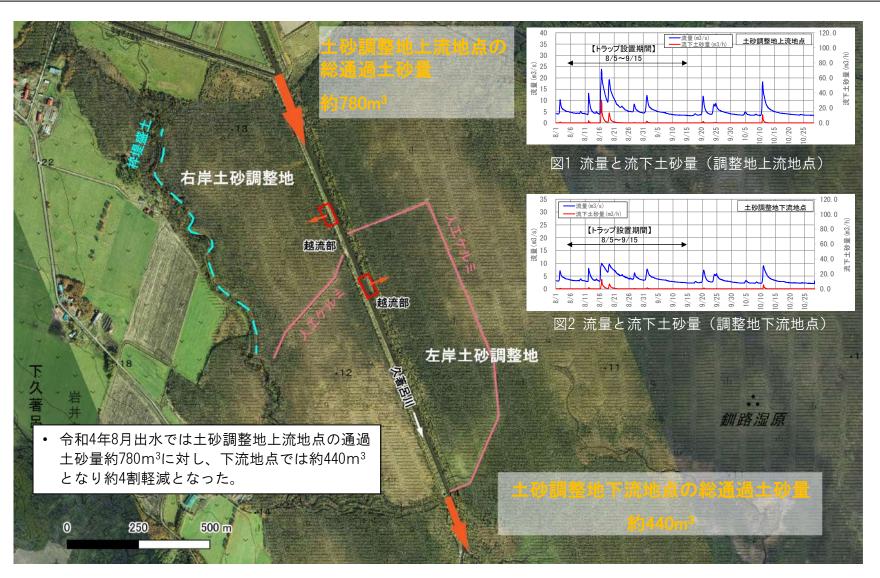
3.4 土砂調整地の堆積量について

◆ 今年度調査で実施した浮遊砂量結果を基に、8/5~9/15に久著呂川を流下した土砂量を算定した。



3.5 令和4年度のモニタリング結果【まとめ】

【土砂軽減効果】

- 土砂トラップ調査期間中(8/5~9/15)に約780m3の浮遊砂が土砂調整地 上流地点を流下し、このうち左右岸の土砂調整地に約4割が堆積した。
- 今年度は土砂堆積量が比較的多い結果となったことから、次年度以降 はこれまでの調査結果を基に解析を行い、土砂軽減効果を算定する。

3.6 今後の予定

平成30年度 第23回土砂流入小委員会で左岸土砂調整地完成後の 事業効果をシミュレーション結果により評価

令和元年の右岸土砂調整地完成後のモニタリング結果を使用して 次年度、右岸土砂調整地も含めたシミュレーションを実施し、 久著呂地区湿原流入部土砂調整地の事業効果を評価する。